

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	超高齢社会のまちづくり（都市空間政策特論第4）
担当教員名	後藤純
単位数(コマ数)	1単位(2コマ×4)
講義曜日・時限	火曜 6限・7限
講義目的	日本は今、超高齢社会という未曾有の局面に直面しています。2025年には団塊世代が後期高齢者となり、人口の2割が75歳以上に達します。その結果、2035年には85歳以上の人口が1,000万人を超えると見込まれています。これは人類史上初めての出来事であり、社会システムの大幅な見直しが求められています。こうした動きは日本に限らず、欧米諸国やBRICs諸国でも2035年に向けて急速に進むと予想され、持続可能な社会の実現において超高齢社会への対応は避けて通れない課題です。 都市計画やまちづくりの分野では、この現実をどのように受け止め、戦略的に取り組むべきかが問われています。本講義では、医療・福祉という従来の枠組みを超え、地域包括ケアシステム、コミュニティデザイン、ジェロンテクノロジーといった視点から、都市空間や地域社会における具体的な課題とその解決策を探ります。 今年度は、岩手県釜石市や石川県能登北部地震の復興、川崎市の取り組みといった地域事例に加え、第一線の研究者による理論的な研究にも触れながら、コミュニティの物的・社会的生活環境のプランニング方法について実践的に考察します。
成績評価方法	講義への参加状況とレポートによる。

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	5月13日	6限	小野 共	ハイブリッド	岩手県釜石市における復興後のまちづくり（141教室）
2	5月13日	7限	後藤 純	ハイブリッド	現代的な高齢者のニーズと地域包括ケアシステム（141教室）
3	5月20日	6限	後藤 純	ハイブリッド	超高齢社会のまちづくりモデル（141教室）
4	5月20日	7限	中田淳・池田高志	ハイブリッド	厚生行政からみた超高齢社会の復興まちづくり（141教室）
5	5月27日	6限	檜山 敦	ハイブリッド	ジェロンテクノロジーとまちづくり（141教室）
6	5月27日	7限	久保 真人	ハイブリッド	地域包括ケアシステムと新しいコミュニティ施策（141教室）
7	6月3日	6限	玉野 和志	ハイブリッド	コミュニティ活動に関する諸制度の実態と課題（141教室）
8	6月3日	7限	似内 遼一	ハイブリッド	超高齢社会のコミュニティを研究する（141教室）
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					